

陳情・意見書

6月定例会では、3件の陳情について審査を行いました。また、意見書提出についての議案1件が議員から提出され、原案のとおり可決しました。
 (陳情・意見書の全文掲載は紙面の都合上、省略しています。ホームページでは全文をご覧いただけます。)

少人数学級の実現、教育予算の増額を

平26陳情第5号 子供たちに豊かな学びを保障するために、少人数学級の実現、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情

▼**留意**
子どもや保護者のニーズに応じたきめ細かな教育を実現し、豊かな教育環境を整備するため、少人数学級の実現、学級規模の弾力化、教育予算の増額などについて、国

▼**賛成討論**
豊かな教育環境整備のために必要であることから、賛成するが、少人数学級の実現だけではなく、個別的な指導をする仕組みなどを陳情項目として入れていただきたい。

▼**議決結果**
本会議 採 択 (賛成多数)

議提議案第2号 少人数学級の実現、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について

▼**要旨**
一人一人の子どもに対するきめ細かな対応が必要であることから、少人数学級の実現と学級規模の弾力化の推進、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充について、国に意見書を提出するもの。

▼**議決結果**
本会議 原案可決 (賛成多数)

継続審査となった陳情

▼**文教福祉常任委員会**
平26陳情第6号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等に関する陳情

平26陳情第7号 秦野市で中学校完全給食実施を求める陳情

第3回 議会報告会 結果報告



平成 26 年 4 月 23 日 (水) 西公民館に 40 人、4 月 26 日 (土) 市役所の議場に 24 人の参加をいただきました。
 当日の主な質疑については次のとおりでした。

● **4月23日(水) 西公民館**
 地域別：西中学校体育館と西公民館等
 テーマ：の複合化施設について

● **4月26日(土) 市役所・議場**
 地域別：子育て支援について
 テーマ

質問 西中学校体育館と西公民館の複合施設について、国の補助金が活用できるものと、できないものがあると聞いたがどうか。

回答 学校施設を整備する場合には、国庫補助制度がありますが、公民館などの社会教育施設には、国の補助制度の活用が難しい状況にあります。

質問 認定こども園とはどういう施設なのか。また、こども園の良さは何か。

回答 認定こども園は、幼稚園と保育園の教育的部分と福祉的部分を併せ持った施設です。相互の交流や先生の情報交換などができるところに良さがあると考えています。

※議会報告会の詳細は、ホームページに掲載しています。

議会を傍聴してみませんか!

議会では、秦野市をより暮らしやすいまちとするため、さまざまな議論が行われています。

本会議当日、本庁舎5階の傍聴席入口で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

なお、委員会を傍聴される方は、当日本庁舎4階議会事務局にお越しください。

..... 9月定例会日程

- 9月 3日(水) 午 前 9 時 本会議 (開会・提案説明)
- 5日(金) // 本会議 (議案審議)
- 8日(月) // 本会議 (一般質問)
- 9日(火) // 本会議 (一般質問)
- 10日(水) // 本会議 (一般質問)
- 12日(金) // 平成25年度決算特別委員会
- 16日(火) // 平成25年度決算特別委員会
- 17日(水) // 平成25年度決算特別委員会
- 18日(木) // 平成25年度決算特別委員会
- 19日(金) 午前9時30分 総務常任委員会
- 22日(月) // 文教福祉常任委員会
- 24日(水) // 環境産業常任委員会
- 25日(木) // 都市建設常任委員会
- 26日(金) // 議会運営委員会
- 29日(月) 午 前 9 時 議会活性化特別委員会
- 10月 3日(金) 午 前 10 時 本会議 (委員長報告・議案審議・閉会)

※会議の日程および時刻は変更することがあります。

議員の仕事と報酬

市議会の議員は、市民から信託を受けた代表者として、市民の声を市政に反映させます。議員が日ごろ、どのような仕事をして、どの位の報酬をもらっているのでしょうか。

議員の仕事

- ☆ 本会議や委員会に出席し、議案の審議や採決に参加します。また、一般質問などで、市政が正しく運営されているか、問題点を指摘し、意見を述べます。
- ☆ 市の施策や制度について調査や報告を受けるほか、進んだ事例を研究して秦野市の施策の参考とするため、他の都市の調査を行います。
- ☆ 地元住民の相談を受けるとともに、自治会や関係団体などからの要望を聞きます。
- ☆ 市民向けに報告会を開催し、また、新聞や広報誌などを発行し、議会での活動を報告します。

議員の報酬 (モデルケース)

※40歳代夫婦(配偶者の収入なし)、子2人

| 区分 | 項目 | 金額 | 備考 |
|----|-------|----------|--|
| 収入 | 報酬 | 411,350円 | 別途、期末手当として937,878円(6月)、962,559円(12月)が支給されています。(※1) |
| 支出 | 税金等 | 111,715円 | 所得税、住民税、国民健康保険税(介護保険料含む)、国民年金保険料(※2) |
| | 差し引き額 | 299,635円 | 以下に示した経費(※3)は、この差し引き額から支払われています。 |

- ※1 報酬及び期末手当は、減額特例措置により任期満了まで5%が削減されています。さらにこの金額から所得税等が差し引かれ、支給されています。
- ※2 住民税と国民健康保険税、国民年金保険料は、年額から1カ月分の負担を計算しています。
- ※3 「慶弔等の交際費的経費」、「政党活動等に要する経費」、「選挙活動及び後援会活動等に要する経費」などがあります。

秦野赤十字病院へ 議長が要請書を提出

平成26年5月、昭和大学が秦野赤十字病院に派遣している産婦人科医の26年度限りの引き揚げを、同病院に通告しました。
 安心して出産ができる環境が揺らぐ、ゆゆしき事態であり、6月定例会では、多くの議員がこの問題を取り上げました。議会として一丸となってこの問題に取り組むべく、6月27日に議会の代表として村上茂議長が古谷義幸市長とともに、「産婦人科体制の堅持等を求める要請書」を秦野赤十字病院の高木繁治院長に提出しました。多くの市民から、ご心配の声が寄せられている中、神奈川県も昭和大学との折衝を行っています。秦野市議会も、引き続き、市長や県と連携を取りながら、この問題への対応に全力で取り組んでまいります。



編集後記

毎日暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
 6月定例会では、22人の議員による一般質問が3日間にわたり行われるなど、活発な質疑が行われました。
 今後も読みやすく、親しまれる「議会だより」を目指して努力します。引き続きご愛読ください。